

生活介護事業所すまいる事業報告

1. 事業概要

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）の理念に基づき、在宅の知的障害者及びその家族の状況に応じ、居宅生活支援を行うため、指定障害福祉サービス事業（生活介護）を実施しました。

利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って支援を提供し、ストレスをためずに自宅へ帰宅できるように努めました。地域との結び付きを重視し、関係市町村、他の障害福祉サービス事業者、地域の保健・医療・福祉サービス機関との綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めました。

目標としまして、引き続き個々の利用者に明確かつ達成可能である目標を定め、個別目標の達成に向けて支援していきました。目標設定には、利用者個々の特性（強み）を把握し、伸ばすように設定していきました。

(1) 農耕作業

小豆栽培をメインに行いましたが、自然栽培での2年目ですが、残念ながら予想を上回る収穫量は得られませんでした。

(2) 委託作業

① N J T銅管株式会社からのビニール等のリサイクル作業

→コロナ禍の為、企業からくる仕事量が減っており、作業収入減となりました。

② Amazon販売製品の荷受け、シール張り作業

高齢利用者、重度利用者でも日々の生きがいにつながる支援を行う。2社の委託作業についても年間作業量目標を設定し行います。

→Amazon販売製品の荷受け、シール張り作業がコロナ禍の為、仕事がなくなってしまいました。

(3) パン販売

年間利益目標を定め、前年度より売上向上を目指します。

① イベント販売

年間予定表を作成し、それぞれの予定販売数も設定します。

→コロナ禍の為、イベントが全て中止となってしまいました。

② 定期企業向け販売

高齢者施設等への新規販路を拡大していきます。2019年度11月より穂の国荘での販売を開始しております。

→緊急事態宣言中は、中止等いたしました。順調に販売継続しております。新規開拓はできておりません。

(4) 機能訓練

① 運動支援

体重増加、運動不足利用者対策を計画していきます。

② 運動機能向上及び維持

運動機能の低下がみられる利用者に対して、運動機能向上、維持するための支援計画を作成します。

→万歩計を活用して運動支援をしました。運動機能低下の利用者様には、ステップを使用した機能訓練やダンスを行い体を動かすことを重視し行いました。

2. 目標に対する実績

支援面におきまして、2019年度に行われた個々の利用者に明確かつ達成可能である目標を引き続き定め、目標に到達出来るよう支援してきました。目標設定には、利用者個々の強みを伸ばす支援を行いました。処遇面におきまして、各グループの年間計画を作成し、成果目標を定めます。年度末には成果結果を検討し、次年度計画を作成しました。